

冬期間の体力づくりに

小友小、みんなで縄跳びジャンプ

小友小学校では2月8日から10日にかけて縄跳びチャレンジ集会が行われ、寒い体育館の中に児童たちの元気な声が響き渡りました。この集会は児童たちの冬



期間の体力づくりと共に、挑戦する意欲を養おうと毎年実施しており、縄跳びのさまざまなか跳び方に挑戦しながら跳ぶ回数を競います。

集会は前跳びから始まり、後半になると後ろあや跳びや二重跳びといった難易度の高い技に挑戦する児童もおり、他の児童たちから「がんばれ」と声援が送られる中、この日のために体



育の授業などで重ねた練習の成果を披露していました。岡本和佳奈さん（2年）は「片足跳びを頑張って68回できました。次はもっと跳べるようになりたいです」と話していました。

サイコロ振ってジオパーク巡り 矢島高校生が鳥海山・飛島ジオパークすごろくを制作



すごろくを手にする秋山教育長(左)、矢島高校の生徒らと土倉学校教育課長(一番右)

矢島高校の生徒が制作した「鳥海山・飛島ジオパークすごろく」が、2月14日に教育委員会に寄贈されました。このすごろくは同校の地域創造コースの生徒がジオパークの魅力を知ってもらいたいと制作したもので、升目には「鳥海修験」の歴史を知ったよ」など簡単な説明文によりジオサイトについて学べるほか「木の根っこを踏んで傷つけた」などと書かれた升目もあり、ジオパークを巡る際

のマナーや注意点も学べる作りになっています。安藤由香さん(3年)は「地域のジオパークについて友達や家族と楽しみながら学んでほしいです」と話しました。すごろくは市内の小学1年生全員に配布されます。



制作されたすごろく

市長のつぶやき日記 市長の湊です。私のSNSに投稿した内容の一部をお伝えします。

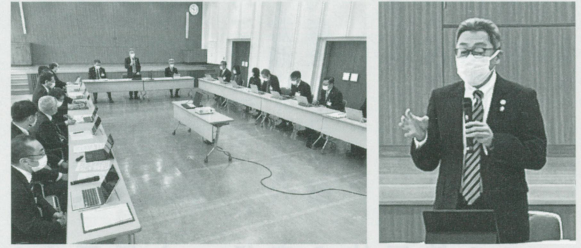


2月2日(水)投稿 由利本荘美術展



1月29日から2月2日までカダレで開催された由利本荘美術展、終了間際に駆け込みで見学させていただきました。新型コロナウイルスの影響で活動が制限される中、作品の制作や出品をしていただき感謝です。さすが選ばれた作品であり、どれも見事ですね！

1月31日(月)投稿 デジタル化推進本部会議



庁内に新たに立ち上げたデジタル化推進本部会議を開催しました。市民サービス向上と業務効率化を図るため、「デジタル化」を推進します。マイナンバーカード取得も大きな鍵となりますが、アフターコロナも見据え非接触や無人化、情報の受発信にも積極的に取り組みます。